

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達支援センター そだち		
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 12 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 10 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 2 月 12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達に合わせた関わりや取り組みが行えるようプログラムを作成し、取り組み後には日々ケース会議を行い支援方法を考察していること。	子ども一人一人と密接に関わり家庭とも連携を取って、個を重視した療育が行えるようなプログラムを作り取り組んでいる。	子ども一人一人の発達を職員間で共通意識が保たれるように会議を行うだけでなく、研修等で得た知識を更に療育に活かすよう個々のスキルを上げていく。
2	保護者、職員間との情報伝達が円滑に進むよう通信や事業所携帯を活用していること。	保護者を対象とした研修会を行ったり、連絡帳や送迎時に直接対話をして子どもの現状の共通理解図っている。 事業所内外の行事を通して、保護者が交流しやすい場を設け支援している。	連絡帳、ショートメールの活用を日頃から密に行うと共に行事のこと等も常に発信していく。
3	週替わりで支援プログラムを変え、様々な療育玩具等を使用しながら療育を行っていること。	子どもが心地よく活動に取り組めるよう日々の清掃、消毒、遊具の整理整頓を心掛け、環境を整えている。	プログラムの見直しを日々行いながら療育すると共に、次の課題に取り組むための準備をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の訓練や放課後等デイサービスの子ども達との交流は定期的に行っているが、保護者にあまり認知されていないこと。	発信が不十分となり周知されにくく浸透していないため。	通信やホームページ等で、交流の様子や避難訓練の様子を広く周知できるように活用していく。
2	事業所の行事を行う際、予定を立てて保護者に通知するタイミングが遅いという指摘があったこと。	年間を通しての行事予定を計画しておらず、季節ごとに企画する行事、活動が多いため。	年間で計画を立てながらお知らせを出すようにしていく。
3	第三者による外部評価が行われておらず、評価を業務改善につなげることが出来ていないこと。	社内で検討事項としてあげているが、なかなか話がまとまらないため。	他事業所との連携を深めながら、評価の依頼をするよう努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センター そだち

公表日 令和7年 2月 25日

利用児童数 令和7年 2月 28日現在 回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1			・広くて良い。 ・十分なスペースが確保されている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	3	1	1	・多い方だと思う。若い人や男性も多くて他より良いと思っているところの一つ。 ・適切だと思う。 ・今は改善されているが、吸入をお願いした時に加温されている部屋で吸引しているからと断られたことがあり、吸入が出来ない程忙しいのかと思った。	現在は改善されて業務に当たっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1			・解放的で好き。 ・シンプルで活動しやすい環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30				・いつも綺麗。 ・清潔感がある。 ・子どもが入りたくなる空間になっている。 ・綺麗に清掃、整理されていて心地よい。 ・天井が高く心地よく過ごせる環境になっている。 ・生き物を飼っているもの良い。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30				・母より分かっていると思うことが多々ある。 ・子どもの苦手なことを把握して支援を行っている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1		1	・支援内容と合っている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29		1		・よく見てくれていると思っている。 ・子どもの十分理解された支援計画だと思う。 ・先日、計画書を見たが、事業所がケアマネに「～しています」と伝えていたことが実際にできていなかったため。	現在は改善されて業務に当たっている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1		1	・難しいことは分からないがすべてお任せしたいくらい信頼している。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1			・計画に沿った支援が行われている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			1	・色々工夫された活動だなと思う。 (2) ・季節のイベントや外に連れて行ってくれることもあり素晴らしいと思う。(2)	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	3	1	5	・放デイの子ども達とも交流することもあってとても良い。 ・高校での芋ほりなどの活動があり良い。	放デイの子どもや地域の方との交流は行われており、保護者へ発信する機会を増やすよう努めている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1			・説明があった。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30				・支援内容の説明があった。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29			1	・勉強会はとても楽しい。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30				・いつもノートで丁寧に活動の様子を伝えてくれる。(3) ・子どものことをよく観察していて、理解してくれているので信頼している。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	2			・何かあるとすぐに対応してくれる印象。 ・行われている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30				・自分の子どもを可愛い可愛いといつも言ってもらえて嬉しい ・親身に話を聞いてくれる。毎朝明るく迎えてくれて嬉しい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	3		2	・交流会や勉強会など定期的にあるので嬉しい。 ・共働きでタイミングが合わず全く参加できないため分らない。 ・いつも学ぶことが多く今後も積極的に参加したい。 ・保護者同士の交流の機会が設けられている。	今後も保護者対象の勉強会や交流会を積極的に行き、周知されるよう発信を強化していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1		1	・相談できる場が身近にあることは安心して過ごせる要素の一つ。 ・対応されていると思う。	今後も保護者からの相談には迅速かつ丁寧に対応していく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29			1	・ショートメールは便利。連絡帳とメール情報伝達が速い。 ・配慮されている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	3			・定期通信は写真が多くて良い。 ・事業所の様子が分かりやすく伝えられている。 ・勉強会のお知らせはもう少し早いと助かる。 ・通信等で発信されている。	年間行事を見直し、早めに発信するようにしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	4		5	・利用開始時に説明された。	非常時のマニュアル等は策定されているが、周知不足であるため発信する機会を増やしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	5		2	・訓練が行われているかは分からない。	訓練は行われている。訓練が実施されていることを保護者に発信する機会を増やしていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1		1	・安全が確保されていると思う。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28			2	・丁寧な説明がされている。(2)	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1			・子どもがニコニコしており楽しんでいるのが伝わる。(2) ・子どもが安心感を持っている。(3)	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	3			・通っている保育園よりも楽しそう。(2) ・機嫌よく通所することが多い。 ・初めは中に入ると泣いていたが、最近泣かずに通所でできているのでよかったかなと思う。子ども自身も少しずつ慣れてきてきているのかなと思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				・大満足。(3) ・先生達がいつも笑顔でいてくれるので嬉しい。 ・要望にもすぐに対応して頂き感謝している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こども発達支援センター そだち		令和7年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		現在の子どもに合った環境設定をしている。情報伝達がうまくいくように通信や事業所携帯を活用している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃、消毒を行っている。日々の活動に合わせて設定の工夫をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもがしたい活動にじっくり取り組めるように環境を整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ケース会議をしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		前年度の評価を参考にすると共に、日々保護者の要望に応えながら、業務改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日ケース会議と意見交換を行い、業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を行っていない。今後検討していくという案件としている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修、外部研修、外部講師を招いての研修を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		各家庭との面談を行い、個々に合わせた計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		リーダーを決めて日々の活動プログラムを立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週替わりでプログラムを変え、固定化しないようにしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の活動と集団の活動のプログラムを用意して行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングをしてその日の活動内容を確認している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ず時間を取ってケース会議を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		これから通う園と情報交換をしたり、出向いてもらったりして子どもの理解を深めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年長児に対して、学校へ通えるよう子どもについての情報交換、援助を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		もちつき会や遠足などで兄弟の子ども等と活動している。	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や迎え時に保護者と課題について話し、共通理解に努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者向けの研修会を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		もちつき会、遠足、お話し会等の行事を通して交流する場を設け、支援している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィン、秋祭り等地域の行事に参加して事業所の周知を図るよう努めている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		個々に合わせたマニュアルや共通のマニュアルを作成し、訓練をして改善している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			